

リーグ戦の日程を終えた第4 5回道学生選手権は2 7日、札幌大グラウンドで1、2部入れ替え戦を行い、2部1位の室蘭工業大が2 8 - 1 0で1部6位の札幌大を下し、6年ぶりの1部昇格を決めた。札幌大の2部降格は9年ぶり。

室蘭工業大は1 0点のリードを追う第2 Q 8分、R B高橋裕哉（4年、小樽桜陽高）のダイブTDで反撃開始。同1 0分には、2部優秀選手にも選ばれたR B黒川達也（4年、士別翔雲高）の4 0ヤードTDランで、1 4 - 1 0と鮮やかに逆転した。第4 Qにも、Q B富田克也（4年、札幌新川高）の3 6ヤードランTD、終了5 6秒前にはR B川上竜輝（2年、士別翔雲高）の1ヤードランTDで加点した。

札幌大は第1 Q、D Bも兼ねるQ B佐藤駿（4年、岩手・水沢高）のインターセプションでつかんだ好機にL B近藤雄大（3年、旭川西高）のF Gで先制。第2 QにはQ B佐藤からW R岡村慶祐（2年、札幌平岡高）へのTDパスが決まり1 0 - 0としたが、その後は反則で好機を逃す不運もあり、室蘭工業大守備に封じられた。

室蘭工業大の半沢伸太郎監督は「インサイドのランが進み、プレーの選択肢が広がった」と勝因を挙げ、「4年生が大量に卒業するので新チームはチャレンジャーになるが、勝つつもりでチームをつくりたい」と6年ぶりの1部復帰に決意。試合を決めるTDランも見せた主将のQ B富田は「立ち上がりに浮足立ってしまったが、ラインが押し込んでくれて徐々にペースをつかんだ。自分のTDも相手守備がダイブに集中したおかげ。1部では背伸びせずに室工大らしいゴリゴリ押し込むプレーで頑張ってもらいたい」と後輩たちに期待を寄せていた。

（北海道学生連盟広報委員・塚田博）